安全であることの尊さ　２０１９

昨日の川崎での痛ましい事件は、保護者の皆様、学校関係者、そして社会全体に大きな衝撃と憤り、悲しみ等様々な影響を与えました。

お亡くなりになられたお二人に哀悼の意を表します。また心や身体に大きな傷を負った皆様にお見舞い申し上げます。

子どもたちや学校の「安全」については、平成１３年６月に起きた大阪教育大学附属池田小学校の事件以来、防犯教育・安全教育として各校で取り組まれてきました。しかしながら昨年５月には新潟で女児殺害事件が起きてしまいました。

悲しくて悔しくて残念でなりません。速報のテレビ画面に出る「心肺停止」の文字を見るたびに「戻ってきて！」と強く強く念じました。

子どもたちの「安全」のために私たちには何ができるのでしょう。学校・保護者の皆様・地域の方々、三者が指導、見守りを続けること。警察等の関係機関と連携すること。できることを一つ一つ重ねていくしかないのだと考えます。学校での安全指導はもちろん引き続き行ってまいりますので、ご家庭や地域での見守りを、お時間が許す中で取り組んでいただきますようお願い申しあげます。

今回のような痛ましい事件が本当にもう二度と起こらないことを、切に願います。